

楽

Sapporo Education and Culture Hall News

RAKU



時代を超える

狂言の「笑い」



札幌市教育文化会館

札幌市教育文化会館情報誌「楽(らく)」は舞台芸術を気軽に楽しんでいただきたいという思いを込めて名付けられました。

時代を超える狂言の「笑い」

神話まで遡る「笑いの力」は、
狂言の世界でいまでも花開いています。



人の死なない喜劇、悪者のいない喜劇。狂言はそう喻えられることがあります。詐欺師やわがままなお金持ちが登場することもありますが、結局は改心させたり、懲らしめて笑い止め(演目の終わりを笑いで幕を閉じることに)したりと、すべてを笑いにつなげていくのが狂言です。そのような「笑い」のかたちが作られたのは、日本の笑いが単純に楽しむためのものではなく、神聖な存在だったからでしょう。

日本におけるもとも古笑い事例は、『古事記』に登場する、天照大神(アマテラスオオミカミ)の天岩戸のお話です。須佐之男(スサノオ)の乱暴に怒った天照大神は、天岩戸の中に身を隠してしまします。すると世の中は真っ暗になり、困った八百万の神が相

談して、天岩戸の前でお祭りをしています。その際、天宇受賣命(アメノウズメ)が踊りだすと、八百万の神がわっと笑いました。その楽しそうな笑いにつられて天照大神は岩戸から出てくるという内容です。

笑いは太陽の神・天照大神を招く力がある、ということはこの神話は物語っており、古くから笑いは魔を祓い、神を招く招福の力と信じられてきたのです。

そういった福をもたらす神を招く踊りと笑いが、豊作を祈るための田楽などに取り入れられ、その一部分は猿楽に吸収されていきます。笑いや滑稽さは一時期、幽玄な能の影に潜んでしましますが、幕府のお抱え芸能になることで、ふたたび笑いに特化した芸能として、「狂言」の世界が確立され

ていくのです。

「狂言」に出てくる笑いは多種多様です。人を風刺する笑いもあれば、失敗する様子に微笑む滑稽な笑い、さらには観ているだけでその朗らかさから笑顔になる祝言の笑いなどがあります。ですがどの笑いにも共通するのは、流行のない普遍的なものだということ。主人公やそのほかの登場人物はこの誰と特定できない設定になっており、物語も、現代にあてはめられるくらい人間の性分ともいえるエピソードをいきいきと写し取っています。

人は生きていけば必ず失敗や間違いを起こします。自分でもついやってしまいそうなことを客観的にみて笑い飛ばし、福を招き寄せらる。そんな人々の知恵が日本最古の喜劇・狂言にはつまっています。



狂言の「名前のない」登場人物たち

狂言は台詞劇で、より演劇に近い古典芸能ですが、特徴的なのは、狂言に登場する人物が名前ではなく中世の階層で呼ばれていること。ほとんどの登場人物に、固有名詞がついていないのです。

よく主人公として出てくる太郎冠者はいわゆるお勤めのサラリーマンに置き換えられますし、太郎冠者の主である主人は部長、立派な格好をして出てくる果報者は、社長などと言え

るでしょう。

名前を持たず、それぞれの階級の代表的な立場として描かれることで「どこかでみたことがある」と親近感を覚え、感情移入しやすくなる。狂言が時代を超えて、観る人を笑いの中に引き込む力があるのはこんな理由からかもしれません。



【果報者(かほうもの)】

豪華な衣装を身にまとう、お金持ちの役。素襦(すおう)というたつぷりとした着物と長袴をつけています。

【山伏(やまぶし)】

そもそも悪霊を退治したり病気を治す法力などを使う修行僧のことを山伏といいます。狂言ではその力をかきに着た横柄な役どころです。悪知恵を働かせて逆にやり込められる展開が多く、社会風刺的な意味も込められています。

【女房(にようぼう)】

なにかと口うるさい女として登場。夫には煙たがられるけど、世話焼きの優しい一面も。美男(びなん)という白い布を頭に巻いているのが特徴です。



フランスの「笑い」との融合

時代を超えて、観ている人を笑わせる狂言ですが、国を越えた笑いを取り入れたのが、昭和28年に書かれた新作狂言「濯ぎ川(すすきがわ)」です。

もとのストーリーは16世紀フランスの古典笑劇「ル・キューヴィエ」(洗濯桶)で、これを下敷きに放送・劇作家の飯沢匡が書き下ろし、狂言にアレンジしました。狂言は「笑い」をキーワードに新しいものを取り入れ、変化していく不思議な古典芸能。その柔軟な芸能に、これからも目が離せません。

散楽 狂言のルーツは中国から伝来

宮廷で行われていた優美な雅楽とは対照的な、曲芸や奇術、歌舞などの大衆的な芸能。奈良時代に中国から渡来したと言われています。民衆的な芸能で、民間に広く親しまれていました。

猿楽 散楽の要素をより発展

平安～鎌倉時代に登場した猿楽。初期の頃は街角や寺社の祭礼などで上演され、コミカルな雑芸を主にしていました。仏教の芸術的要素の影響を受けて、滑稽なものまね芸と歌舞的な要素を併せ持つ「猿楽の能」へと進化していきました。

能楽 歌舞伎的な能楽の台頭

室町時代には芸を披露するだけではなく、世相を風刺する笑いの台詞劇へと猿楽が発展。しかし、武士が政権を握る時代性が反映され、笑いよりも深みのある芸能が主流となると、大和猿楽四座が台頭し、能の座が組織を形成。狂言はその座の中に吸収されました。

狂言 様式が整えられ、狂言として確立

安土桃山時代には能・狂言は武將に愛され、徳川幕府の時代には武家の儀式用の芸能として保護を受けます。狂言三流(大蔵・鷲・和泉)もこの時期に確立され、古典芸能としての狂言となっていくのです。

「濯ぎ川(すすきがわ)」あらすじ

妻と姑にこき使われているむこ養子の男が主人公。女二人のあまりの注文の多さに、「仕事を書き記して欲しい」と頼みます。すると女二人は朝起きるところから、事細かに書きつけます。男は「ここに書かれていること以外やらなくていい」ということを確認して洗濯物の仕事に取りかかります。しかし流れた小袖を拾おうとして妻が川に落ちてしまい、姑が助けるように言うところ、そんな仕事は書かれていない」とやりこめてしまします。これからは「口うるさく言わない約束をして妻を助けますが、かんかんに怒った妻に追いかけて退場します。」



a:読み聞かせ/高井ヒロシ with 笛部
b:パントマイムステージ/中村太一
c:教文13丁目笑劇一座ミニライブ

市民ロビー

市民ロビーライブ

様々な無料のライブが目白押し！
家族や友だちと気軽に楽しめます！



市民ロビーライブは正面入り口から入って右側のスペースで開催。ギター演奏から始まり、笛の生演奏も加わった子ども向けの絵本読み聞かせ、パントマイムステージ、子どもたちによるダンス、そして教文13丁目笑劇一座

ミニライブと楽しいライブが一日中続きます。また、フードやドリンクコーナーもご用意。それぞれ短いライブですのでお気軽にお立ち寄りください。ときに可愛らしい、ときに熱のこもったライブがなないろコレクションを盛り上げます。



大ホール

バイリンガル狂言

初心者でも大丈夫
日本の伝統芸能「狂言」を見てみよう

日本語と英語の掛け合いで繰り広げる実験的かつエキサイティングな狂言が、バイリンガル狂言。日本でも珍しいバイリンガル狂言師の茂山童司さんを京都よりお招きして、狂言の楽しみ方や成り立ちなどを、お話や実演を通して学べる、初心者向けのやさしい狂言講座がセットになった公演です。



狂言という古典劇にもかかわらず、日本人、外国人という隔たりがなく楽しめ、狂言を見たことがなく、英語がわからなくても楽しんでいただける内容です。古典芸能初心者の方、いつもと違ったアプローチで楽しみたい方などにおすすめのプログラムです。



2012年7月16日(月・祝) 14時開演(13時半開場)
札幌市教育文化会館 大ホール
全席指定：1,500円
[チケット]
教文・大丸プレイガイド・チケットぴあ・ローソンチケットにて発売中

札幌市教育文化会館35周年記念

USTREAM特別番組
SUPER☆GiRLS 勝田梨乃生出演
「コネクト☆ドキドキスマイル！」
(おしゃべりコネクト番外編)

7月2日(月) 19:00放送!

札幌市教育文化会館がお送りする情報バラエティUSTREAM番組にコネ・クートくんのお友達の勝田梨乃ちゃんがMCとして登場します! 7月16日のイベントの紹介と、あらかじめ応募した梨乃ちゃんへの質問に答えていただくコーナーもあります! ご期待下さい。

勝田梨乃
(SUPER☆GiRLS)
プロフィール

生年月日:1994年7月10日
出身地:北海道
血液型:AB型
趣味・特技:音楽鑑賞、食べること、柔軟体操、体を動かすこと
好きなアイドル:少女時代さん、上戸彩さん、くりいむしちゅー有田さん
自分を漢字二文字で表すと:前向
将来の夢:バラエティ、情報番組、語学番組など何でも出来るマルチタレント

勝田梨乃オフィシャルブログ
「SUPER☆GiRLSピン日記」
<http://ameblo.jp/sg-pino/>

札幌市教育文化会館ドキドキ♡ドッキング
～教文大使コネ・クート&SUPER☆GiRLS勝田梨乃～
<http://kyobun-35th.com/>

おしゃべりコネクト
<http://www.ustream.tv/channel/oshaconne/>



勝田 梨乃 (SUPER☆GiRLS)

札幌市教育文化会館は、昭和52年(1977)の開館から今年で35周年を迎えます。開館35周年を記念し、これまでご利用いただいた市民の皆さまへの感謝の気持ちと、まだ来館されたことのない方々にも気軽に足を運んでいただくきっかけとして、全館を開放したイベントを開催します。ホールの裏側を体験するバックステージツアーや古典芸能の鑑賞、新進気鋭の音楽家による無料コンサート、子どもから大人まで気軽に楽しめる各種ワークショップなど、ホールやロビーを隅々まで使って文化芸術に親しむ場をつくり出します。教文ならではのバラエティーに富んだプログラムが目白押し。イベントに、ご家族づれ・お友だち同士でお越しください。



研修室402 | 研修室403 | ギャラリー

なないろ工房

オリジナル・アート作品をつくってみよう!

「なないろ工房」では、子どもから大人まで参加できる、8つのクラフトワークショップを開催します。タッセル(房飾り)やストラップ、プレスレット、モールでのわんちゃん作りは手芸専門店(株)カナリヤの専門スタッフさんがレク

チャー。そのほかにも消しゴム版画や、専用クレヨンでデザインするオリジナルTシャツ、缶バッジなど、アクセサリや雑貨づくりを、ワンコインで体験できます。自分だけのアート作品をつくり出せるイベントです。



札幌市教育文化会館 | 2012.7.16 [月・祝]

開館35周年記念 コネ・クートなないろコレクション

教育文化会館の35周年を記念した全館開放イベントを開催します。大人気「バイリンガル狂言」をはじめ、無料クラシックコンサートなど、一日中、教文でお楽しみいただけます。



教文大使
コネ・クートくん
designed by ロケットデザイン

小ホール

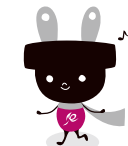
札幌市民芸術祭 なないろコンサート

芸術祭入賞者による、色とりどりのステージ!

札幌市民芸術祭は、市民のみさんの芸術文化活動を応援している事業。その市民芸術祭の各事業で大賞・奨励賞を受賞した若き実力者たちによるフレッシュなコンサートです。3人組オペラユニット歌劇弾をはじめ、ギターソロ、フルート、オーボエ、そし

て札幌北陵高校合唱部による5つのステージを上演。クラシックからポピュラーな曲まで色とりどり、バラエティに富んだ内容でお贈りします。入場無料で未就学のお子さまもご入場いただけますので、どなたでもお気軽にご来場ください。

a:歌劇弾(かげきだん)/左から下司貴大(バリトン)、山本真平(ピアノ)、川島沙耶(ソプラノ)
b:ギターソロコンサート/亀岡三典



教文演劇フェスティバル 2012

2012年7月16日[月・祝]～8月19日[日]

さまざまな個性の演劇を2日間で網羅する「短編演劇祭」をはじめ、演劇初心者でも楽しめるイベントです。



毎

年夏に札幌市教育文化会館がお贈りする演劇の祭典、通称「演フェス」。初心者から経験者まで参加できる各種ワークショップ、注目の劇団の公演も勢ぞろいする演劇のお祭りです。

その中でも「短編演劇祭」はメインイベントとして定着しており、1チーム20分間の短編演劇を2日間に渡って計10チームが上演し、観客投票によってチャンピオンを決定する企画です。

予選では公開書類審査を勝ち残った見ごたえたっぷりの8作品を2ブロックに分けて上演し、決勝では予選を制した2チームと大会二連覇中のチャンピオン「イレブン☆ナイン」、愛知の短編演劇祭「劇王」のチャンピオン「オイスターズ」も登場し、見どころ満載。

さらに今年度のチャンピオンは来年の2月に開催される「劇王」全国大会に北海道代表として参戦します。

今年も演劇フェスティバルから目が離せない!!



教文演劇フェスティバルではお手伝いをしてくださるボランティアを募集! 興味のある方は、教文演劇フェスティバル実行委員会 事務局(011-271-5822)までお問い合わせください!



- ◎楽曲提供・演奏/ARM(IOUSYS)
- ◎日舞監修/東華子(日本舞踊正派東流日本舞踊師範)
- ◎振付/櫻井ひろ(教文コミュニティダンス部)
- ◎動画MC/柳生たみ
- ◎動画制作/IOUSYS

外郎売体操

2012年7月13日[金]・16日[月・祝]

ダンスと伝統芸能がドッキングした「外郎売体操」。観て、一緒に踊って、セリフと動きの両方を楽しむ体操です。

道

内ではなかなか見る機会のない能・狂言、そして歌舞伎などさまざまな古典芸能を鑑賞できる札幌市教育文化会館。古典芸能の面白さを身近に感じてもらいたいと、開館35周年を記念して作り出したのが「外郎売体操」です。

外郎売の早口の口上にフリをつけ、見ても楽しい、真似して一緒に動いていても楽しい、そんな体操です。振り付けは教文コミュニティダンス部の桜井ひろ、音楽制作は札幌の同人音楽サークル「IOUSYS(イオシス)」がおこない見ごたえのある作品に仕上がりました。6月9日(土)に開催する「舞台かけ声講座」終了後に初披露されました。コミュニケーションを通じて生まれるダンスを楽しむのがコミュニティダンス。難しいことは考えず、早口言葉と体操で、楽しい時間をすごしませんか。

外郎売の口上の内容に振り付けし、さらに歌舞伎的な要素も取り入れています。



「外郎売」とは

歌舞伎十八番のひとつ。「外郎(のどの薬)の効用をのべる口上」が早口言葉・長台詞として有名で、演劇やアナウンサーの訓練でも必ず用いられています。

